

MotoGP rd.7 GRAN PREMI APEROL DE CATALUNYA MORIWAKI RACING RACE REPORT

Moto2 class

ルティ3戦連続の表彰台獲得で総合2位に浮上。
エリアスも5位で首位をキープ、モリワキ勢が総合で1, 2を占める。

ルティ3戦連続の表彰台獲得で総合2位に浮上。エリアスも5位で首位をキープ、モリワキ勢が総合で1, 2を占める。

3週連続最後の戦いとなった第7戦カタルーニャGPは、連日35°C前後の猛暑となり、ライダーにもタイヤにもマシンにも厳しいコンディションとなった。カタルーニャ・サーキットは、イギリス、オランダ同様、シーズンを通じて屈指のハイスピードコース。予想通り、予選、決勝と白熱した戦いが繰り広げられ、予選3番手のルティ(Interwetten Moriwaki Moto2)が2位でフィニッシュ、総合でも2位に浮上。予選4番手のエリアス(Gresini Racing Moto2)は5位でチェッカーを受けて総合首位をキープ。今季初めてモリワキ勢が、総合ランクで1, 2を占めた。前戦オランダGPでトップに浮上したコンストラクターズポイントでも、首位をキープした。

以下、モリワキMD600勢は、スタートの遅れを取り戻したニエト(Holiday Gym G22)が8位。イワノフ(Gresini Racing Moto2)18位、転倒して再スタートを切ったシメオン(Holiday Gym G22)は24位で完走。ペシェック(Matteoni GP Racing)はリタイヤだった。

毎戦、白熱した戦いが繰り広げられているMoto2クラスは、今大会も序盤から激しい戦いとなった。スタート直後の1コーナーで9台が転倒する多重クラッシュが発生。そのハプニングでコースアウトする選手も多く、オープニングから大荒れとなった。その中で、フロントローからスタートした予選3番手のルティ、予選4番手のエリアスは、辛うじて、このアクシデントを回避、同じくフロントローからスタートした高橋裕紀(TECH3)、A・イアンノーネ(SPEED UP)、J・シモン(SUTER)らとトップグループを形成。オープニングラップを終えたときには、ルティ、エリアスが1, 2でメインストレートを駆け抜けた。

その後のルティは、3周目にイアンノーネ(SPEED UP)に抜かれて2番手にポジションを落とし、追いつけてきた高橋裕紀(TECH3)、シモン(SUTER)と2位争いの集団を形成した。その後、トップに立ったイアンノーネが、イエローフラッグ追い越しでピットスルーのペナルティで順位を落とし優勝争いから脱落。2位集団から抜け出した高橋(TECH3)が単独走行となり優勝。その後方では、シモン(SUTER)の追撃を振り切ったルティが、3連戦3連続表彰台獲得となる2位でフィニッシュ。総合でも総合3位から2位に浮上した。

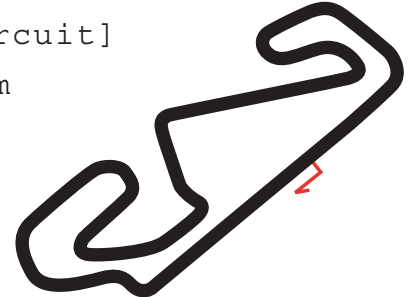
今大会は、前戦オランダ大会の後に古傷の鎖骨の手術を受けて万全の体調ではなかった。しかし、レースをこなす毎にセットアップが決まっているモリワキMD600で3戦連続今季4回目の表彰台を獲得した。

その後方では、予選4番手から序盤トップグループにつけたエリアスが、K・アブラハム(FTR)、S・コルシ(MOTOBI)と激烈な4位争いを繰り広げて5位でフィニッシュ。オランダGPからの連続表彰台を逃すも、総合首位を確実にキープ。2位にルティと、モリワキMD600に二人が、総合1, 2位を占めた。

その後方では、予選17番手から1コーナーの多重クラッシュの影響でオープニングラップ23番手まで順位を落としたニエトが、素晴らしい追い上げを見せて第3戦フランスGPに続いて今季ベストタイの8位でフィニッシュした。

[Catalunya Circuit]

LENGTH 4,727m



TOTAL OF 3 PAGE(S) INCLUDING THIS ONE

MotoGP rd.7 GRAN PREMI APEROL DE CATALUNYA MORIWAKI RACING RACE REPORT

予選31番手から決勝に挑んだイワノフは18位とポイント獲得まであと一步に迫った。予選34番手と後方からのスタートになったシメオンは、1コーナーの混乱を避けてオープニングラップ15番手につけた。しかし、その後、転倒を喫し最下位へ順位を落とし、そこから追い上げて24位でフィニッシュ。予選24位のペシェックはリタイヤに終わった。

今大会も4チーム6台のモリワキMD600が参戦した。37℃の最高気温を記録した初日のフリー走行では、エリアスが1分48秒425でトップタイム。2日目のフリー走行では、ルティがトップタイムと、モリワキMD600が厳しいコンディションの中で好パフォーマンスを見せつけた。今大会は、2日間2回の総合タイムでトップのルティから1秒差以内に26台という今季もっとも厳しい接戦となった。3日間を通じて苛酷なコンディションとなったカタルーニャGPだが、その厳しい闘いの中でモリワキMD600がパフォーマンスを遺憾なく発揮した。

●T・ルティ(Moto2 2位)

「オランダGPの後、鎖骨の手術をしていたので、決勝に向けてやや不安はあった。3日間を通じて暑い日が続いた。人間は勿論のこと、タイヤにもマシンにも厳しいレースになることはわかっていた。今日はハードタイヤをチョイスして決勝に挑んだが、それも良かった。今回も優勝は出来なかったが、イギリス、オランダ、カタルーニャの3連戦で3戦連続表彰台に立てたことが嬉しい。ランキングでも2位に浮上した。次のドイツでは、肩の状態も良くなっているので、優勝を目指したい」

●T・エリアス(Moto2 5位)

「この厳しいコンディションの中でフロントローに並べた。調子も悪くなくて、決勝では優勝争いが出てくると思っていた。しかし、思ったようにペースを上げられず、優勝争いから遅れての5位だった。その理由を解明したい。今日は、スタート直後に多重クラッシュが起きたが、巻き込まれずに済んで良かった。タイトル争いをするイアンノーネがペナルティで順位を落としたことも、チャンピオンシップを考えるとラッキーだった」

●F・ニエト(Moto2 8位)

「スタート直後の1コーナーの多重クラッシュを避けるためにコースアウトして、大きく順位を落とした。最悪の序盤となったが、それからぐいぐい追い上げて8位でフィニッシュすることが出来た。今回はフリー、予選、そして決勝と、どんどんバイクのバランスが良くなった。暑くてタイヤに厳しいレースだったが、ペースも悪くなかったし、今年になって一番内容のあるレースだった」

●V・イワノフ(Moto2 18位)

「もう少しでポイントを獲得することが出来たので残念。レース中は、ポイント圏内で長く戦うことも出来た。終盤、ペースが落ちて18位に終わったが、今大会は順調にタイムを短縮することが出来た。収穫の大きなレースだった。次のドイツにつながるレースになったと思うし、ザクセンリンクではポイントを取りたい」

●X・シメオン(Moto2 24位)

「今回は予選が上手いかず34番手と後方グリッドになってしまった。しかし決勝では、スタート直後の混乱を避けて、15番手前後まで上がったのだが、その後、転倒して最下位に落ちて、そこから追い上げなければならなかった。残念なレースだったけれど、予選タイムを決勝で更新できたことは良かった。何とか完走出来たことも嬉しい。しかし、2戦連続でポイントを獲得できなかったのが残念だ」



MotoGP rd.7 GRAN PREMI APEROL DE CATALUNYA MORIWAKI RACING RACE REPORT

RESULT

Qualifying

POS	No	RIDER	TEAM	TIME
3	12	Thomas LUTHI	Interwetten Moriwaki Moto2	1'47.973
4	24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2	1'48.089
17	10	Fonsi NIETO	Holiday Gym G22	1'48.563
24	52	Lukas PESEK	Matteoni CP Racing	1'48.677
31	61	Vladimir IVANOV	Gresini Racing Moto2	1'49.036
34	19	Xavier SIMEON	Holiday Gym Racing	1'49.169

RACE

POS	No	RIDER	TEAM
2	12	Thomas LUTHI	Interwetten Moriwaki Moto2
5	24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2
8	10	Fonsi NIETO	Holiday Gym G22
18	61	Vladimir IVANOV	Gresini Racing Moto2
24	19	Xavier SIMEON	Holiday Gym G22

Not Classified

No	RIDER	TEAM
52	Lukas PESEK	Matteoni CP Racing

World Championship Classification

RIDER POINT RANKING

POS	No	RIDER	POINT
1	24	Toni ELIAS	111
2	12	Thomas LUTHI	94
13	10	Fonsi NIETO	25
25	19	Xavier SIMEON	8
28	52	Lukas PESEK	4

CONSTRUCTOR CHAMPIONSHIP

MORIWAKI MD600 RANKING / TOP

